



利
451
2049
1/10

東京書院
學校圖書



修身小學卷之下

明治年月日

氏寄贈

澤井楚平

福田

第十三節 儉

活計ヲ善クセント欲スレバ惟勞作ヲ主トスルノミ
ナラズ蓄有スル財貨ヲ節用スルニアリ勉強シテ大
利ヲ得ルニ節用ヲ知ラザレバ僅カニ懦弱ノ謗リヲ
免カル、ノミニニテ實功有ルナシ懦弱ニシテ小利ヲ
得過分ノ財ヲ費ヤセバ俄カニ家産ヲ失ヒ窮人トナ
スハ理ノ常ナリ故ニ活計ハ節用ヲ心ト為シ常ニ分
釐ヲ積ミ蓄ハヘテ疾病事故ニ備フルヲ良法トス故

修身小學

卷之二

ナクシテ遊戯ニ財ヲ費ヤスハ水中ニ投棄ルヨリモ甚ダシトス此金此勞作ヲ虚耗スルハ我身ノ不徳ノミナラズ人ヲ惰慢ニ誘引スレハナリ又食物器什ヲ漫リニ瘻棄スベカラズ猶用ニ堪ユルモノハ貧人ニ施與スルヲ可トス

○大家節儉ノ例

節儉ヲ固守シタルニ古シヘヨリ高名ナル大家數多アリ希臘ノ王アレキサンドルハ衣裳麾下ノ士ト異ナルヲナシ羅馬ノ「コンスル」名官タル「カト」ハ價一百「ベンス」ノ衣服ヲ求メズ世畧ノ帝タル「チーダスチユ

ス」ハ常ニ衣裳ヲ其妃及ビ女ニ縫ハシメタリ且ツ夜具ハ平人ニ均シキ粗品ヲ用ヒタリ當今「オーストリヤ」國ノ祖タル「ロドルフ」帝ハ一日蒸餅肆ニ入テ竈ノ側ラニ温ヲ取リシガ其家ノ婦帝ノ惡衣ナルヲ見テ微賤ナル者ト見做シ禮ヲモ為サズ出シ遣リタリ其風格想フベシ佛蘭西王「ロイス」第十一世ノ日誌ヲ按ズルニ表衣ヲ綴ルニ三「ペン」ス沓ヲ修スルニ一「ペン」ス半ヲ用ヒタルヲ細カニ等シ書セリ是等ノ大家私費ニ於テハ斯ノ如ク節儉ナリ然レモ國家ノ用ニ至テハ未ダ嘗テ大金ヲ惜ムヲ無カリシトナリ

③「ハーフ、クローン」ノ價

「ワレンチー」十三歳ニノ學ニ入シカ同舎ノ生徒皆
多クノ金ヲ齎^{モタ}ラシケルヲ羨^{アガ}ヤミ已レモ同シク之ヲ
得^レシヲ欲シ同輩皆一周間ニ「ハーフ、クローン」^九半圓
ヲ費ヤスヲ記シテ父ニ乞ヒタリシニ父之ヲ許サ
ズ「ハーフ、クローン」ヲ善ク利用スレバ功績^{イデ}幾^バ何カ大
ナルヲ書記シテ之ヲ喻^サセリ其書ニ曰

馬鈴薯^{ポテト}二苞^ニ百六價^{百六}凡^ソ「ハーフ、クローン」ヲ以テ得ベ
シ一人ノ食料日ニ二斤半ヲ以テ足ル則ハチ「ハーフ、
クローン」ヲ以テ一周間九人ヲ養フベシ是レ粗食ナ

リト雖^モ凡^ソ食塩牛酪ヲ和シテ平民下等ノ常食ト為シ
テ命ヲ保スルモノ幾千人ナルヲ知ラズ

我カ近隣ニ住スル貧人ハ一周毎ニ六^{ペンス}一^{ペンス}九^{ペンス}我

ニ^ニ我^ニノ蒸餅ヲ惠マル、ヲ思トシ受ケ之ヲ兒輩ノ

食ニ給セリ若シ「ハーフ、クローン」ヲ以テ之カ用ニ充

レバ毎一周隣里五家ヲ喜ハスベシ

田舎ニ僑居スル大屋ト雖^モ凡^ソ一年ニ四十^{シルリング}グ

我^ニシ^ルリ^ング^九當^ルヲ以テ借ルベシ「ハーフ、クローン」

ヲ用ユレバ一周間斯ノ如キ家三戸ヲ借ルベシ

郷先生ノ受業料ハ大抵一周間ニ二^{ペンス}ナリ「ハ

フクローシシヲ之ニ賦スレバ學童三十名ヲ教ユベシ
都邑ノ小學ニ於テモ凡ソ一年五シルリリングヲ以テ
通常ノ學業ヲ受クベシ之ニ賦スレバ生徒六名ノ受
業料ニ充テ且ツ書籍ヲモ買ヒ得ルベシ
以上ハ「ハーフ、クローシ」ヲ以テ他人ヲ利スルノ用法
ナリ更ニ汝自カラ利用スル事件一二ヲ示サン
汝嘗テ画本ヲ好メリ毎月許多ノ新板アリ若シ每一
周ニ「ハーフ、クローシ」ヲ用フレバ其最良ナル者ヲ得
ベシ又此金ヲ以テ每周ニ書籍ヲ買ハゞ一歳ニシテ
五年ニ讀ミ終ハラザル書ヲ得ベシ

我レ金ヲ吝ムニアラズ惟前言ノ如ク善ク金ヲ用フ
レバ至大緊要ノ功アリ汝カ同僚ノ如ク徒ニ翫弄遊
戯ニ費ヤスヲ屑イサキヨシトセザルノミ

第十四慈善

己レヲ勉メテ己レニ備フルハ人生ノ法ナリ時ニ臨
ンテ相救ヒ相助クルハ世ニ處スルノ則ニノ欠クベ
カラザル通義ナリ人ニ接スル忠愛ヲ以テスレバ人
ノ為ス善行ヲ見テ妬子ヲ生セザルノミナラズ益之ヲ
勸ノ非シテ自カラ為セルガ如シ若シ失誤アレバ必之
ヲ忠告シテ非ニ至ラシメズ此ノ德行ヲ推シ廣ムレ

備身八巻 卷之十
バ上ハ仁慈ニシテ下敬孝ナリ是ヲ國家ノ洪福ト云
フ若シ之ニ反スレバ互ニ嫉ミ嫌フテ親シミ交ハル
コナシ然レ僥幸ヲ望ムハ鄙劣ノ限リナラズヤ
至性謹慎ノ人ト雖厄不時ノ災厄アリ或ハ疾ニ罹リ
創ヲ被ムリ或ハ善良ナル言行モ時ニ蹉跌シ遂ニ坎
墮ニ陥ル等ナリスル薄命ナル人ヲ保シ裨クルハ固
ヨリ人ノ義務ニメ濟ハル、人ハ論ナク濟フ人モ亦
愉快ナルコトヲ得從フテ世ノ美談トナルモノナリ
人生固ヨリ強弱賢愚貧富善惡ノ別アリ邦家モ亦然
リ文明夫俗盛治衰乱等ノ異ナキ能ハズ故ニ一人一

國ヲ問ハズ強ハ弱ヲ助ケ善ハ惡ヲ教ヘ富ハ貧ヲ救
ヒ智ハ愚ヲ導ヒク等世衆ノ務ナリ
人ヲシテ此務ヲ為サシムル為メニ天ヨリ良心ヲ賦
與セルナリ語ニ曰ク人其同族ヲ愛シ貧人ヲ助ケ孤
寡ヲ恤ミ互ニ善行ヲ勸ムベシト然レモ慈惠ヲ施ス
ニ頗ル注意ヲ要ス若シ懦弱ヲ助ケ不善ヲ進ムル弊
ヲ招クニ至レバ恩德反テ其人ノ害トナル故ニ慈惠
ノ良法ハ真成ノ情ヲ察シ之ヲ濟ヒテ其度ニ過キガ
ルベシ又已レガ債ヲ償ハズメ人ニ與フルハ信人ニ
アラズ是亦盜ノミ

○ホワードノ事

英國ノ豪族ジヨーン・ホワードハ自カラ刻苦勵精ノ
 他人ノ困難ヲ濟フヲ以テ事トセシ人ナリ曾テリス
 ボンニ航セシガ是時英佛隙アルヲ以テホワード忽
 チ佛人ノ手ニ捕ハレブレストノ獄ニ繫カレ同行ノ
 者ト與ニ數日石床ノ上ニ起卧シ食物足ラズシテ幾
 ド饑餓ニ及ベリ此艱苦ニ逢フテ大ニ感發シ中心慈
 悲ヲ為ント欲シ赦ニ逢フテ英國ニ歸リシ日直チニ
 政府ニ詣リ彼ノ苛烈ノ件々ヲ述ベテ佛ノ政府ト議
 シ互ニ囚虜ヲ寛宥ニ接待センコトヲ乞ヒシニ遂ニ其

志ヲ容サレタリ

後四五年カージントンニ住居シ近隣ノ貧民ヲ聚メ
 家ヲ與ヘ職業ヲ教ヘ各人ニ安堵ヲ得セシメ又學校
 ヲ設ケ兒童ヲ教育セリ千七百七十三年ニ當リテ意
 ヲ其地ノ囚人ニ屬シテ其弊ヲ改正セリ蓋シ此時ノ
 牢獄ハ危險ノ巢窟ニノ多ク人命ヲ隕シ且惡ヲ懲ラ
 スニ足ラズ反テ不善ヲ勸ムルニ至レリ是ニ於テ國
 中ノ囚獄ヲ巡廻シ官府ニ請ヒ弊ヲ除ゾキ囚徒ヲメ
 健康ヲ保シ自カラ徳ニ復セシムル等ノ方法ヲ施セ
 リ猶普ク之ヲ外國ニ及ボサンコトヲ志シ千七百七十

五年ヨリ死ニ至ルマデ歐州各國ニ周流シテ到ル所ノ官府ニ乞フテ悉ク其囚獄ヲ改正シ記行ヲ著ハシ各處囚獄改正方法ヲ附録ノ之ヲ世間ニ頒布セリ當時「ホワード」ノ仁聞天下ニ滿チタレバ其說ニ從ガハザルモノナカリキ千七百八十四年ニ既ニ遍歴セシ路程凡ソ四万二千里蓋シ全地球ノ週圍ニ幾ンド倍セリ

地中海ノ周圍ニ在ル都邑時々流行疫厲ノ為メニ困難スル者多シ土俗其所在ニ一宇ノ病院ヲ營ナシモシ疫厲流行スル地ヨリ船ノ來ルキハ船中ノ人ヲ擡

ゲテ久シク此院ニ入レ以テ傳染ヲ防ク然レド此院ハ最惡ノ牢獄ノ如クニテ病ヲ防ガレヨリモ反テ病ヲ大漸スルノ弊アリ「ホワード」之ヲ聞キ愍情止ミ難ク自カラ其景况ヲ視察セント欲シテ千七百八十五年徒者ノ傳染ヲ恐レ單身ニテフランス「イタリ」マルタ「ザン」ト「スミル」ナ「コン」スタ「ンチ」ノ「ト」ブル「フ」經歴シ歸路「スミル」ナニ至ルニ會疫厲流行セリ「ホワード」乃チ船ニ乘リテ「ベナイ」スニ趣キタリ船路海賊ニ出遇ヒシが大膽ニ鬪フテ之ヲ退タリ「ベナイ」スニ着シタル片例ノ如ク其地ノ病院ニ入り四十日逗留シ

テ其待接ノ方ヨ善シタリ夫レ如是人ノ為ニ身命ヲ
輕ニシ慈愛ヲ施コスヲ誰レカ感歎セザランヤ「セル
マン帝之ヲ聞テ延見シ厚ク禮待ヲ加ヘ其仁且勇ナ
ルヲ賞シ為ニ金像ヲ都府ニ立ント擬ス「ホワード」性
素ヨリ謙遜ナレバ固辞シテ止ミヌ

千七百八十九年ノ夏「ホワード」最後ノ旅ニ起行シ「ゼ
ルマン」ヲ經テ「ペートルスバラフ」及ビ「モスコ」ニ詣ル
所在ノ官府皆ヲ牢獄病院ニ誘キテ之ヲ示シ恰モ海
内牢獄病院ノ総長官ノ至ルカ如ク待遇最モ厚カリ
ケリ已ニシテ黒海濱ノ「ゼルツン」ニ次セシガ惡疫流

行遇ヒ一少女「ホワード」ニ治ヲ乞ヒケレハ素ヨリ窮
人ノ乞ヒニ應シ濟フ「ヲ」旨トスレバ辞セヌメ赴キ
ケルカ不幸ニメ浸染ヲ被フリ遂ニ此地ニ卒シ又衆
人其死ヲ哀シミテ厚ク墓^{ウツル}レリ後「ロシヤ」帝此ノ地ニ
碑ヲ建立セリ

②「ヒリップ、シツド」戦死ノ話

「ヒリップ、シツド」ハ文武兼備ノ将ナリ「子」セルラ
ンドノ「ジヨットヘン」ノ戦ニ騎ル所ノ馬失ニ中テ斃
ル、モノニ回ナレ凡少シモ屈セス猶力戦シテ他ノ
馬ニ騎リカヘントスル片遂ニ其身モ劊ヲ被リ士卒

ニ扶ケラレテ退キタリ大凡戰場ニ於テ創ヲ受ケル
 モノハ甚ハダ渴スルモノナリ「ヒリッブ、シツトニ」モ
 大渴スレモ容易ク水ヲ得カタク稍ヤクニシテ「摩下
 ノ士一杯ノ水ヲ汲ミ來リシカ傍ラニ同シク創ヲ受
 ケタル一卒アリ其水ヲ仰キ見テ羨ヤミ望ソム氣色
 見エケレハ「ヒリッブ、シツトニ」已レハ飲マスシテ之
 ヲ與ヘ曰ク汝ノ求メハ吾ヨリモ甚ハタシカルベシ
 言ヒ終リテ息絶エタリ夫レ「ヒリッブ、シツトニ」末期
 ニ至ルマテ愛惠ヲ下ニ施コシ不朽ノ名ヲ竹帛ニ書
 ル世人慈惠ノ處置ヲ貴ノノ間ハ彼ノ人ノ名日月ト

共ニ没スルヲナシ

③「ドルモンド」ノ事

千七百五十年ノ頃「エジンバラ」ノ府尹「ジョー」ルジ
 ドルモンド「ハ仁惠ヲ以テ稱セラレタル人ナリ一日
 「エストポルト」ヨリ府ニ歸ル途中ニテ貧人ノ墓ニ遇
 ヒシガ柩ヲ舁^カモノ四人ノ外一人モ送ルモノ無キヲ
 見テ「怜^レレミ思ヒ自カラ吊者トナリテ之ヲ送リケル
 ニ會府尹ヲ知ルニ貴人ニ遇ヘリニ貴人異シミテ其
 所為ヲ問フニ「若^シ此^カ々々^カノ由ヲ告ケ、レバ二人大ニ
 感嘆シ與ニ吊者トナリ送り行クニ幾町ナラズメ復

數人ニ遇ヒ俱ニ共ニ之ヲ送り頗ル墓儀ヲ調ヘテ墓
 所ニ至リ事畢ハリテ右昇人ニ問フテ曰死者妻孥有
 ヤ曰妻アリ極貧ニシテ且老ヒタリ「ドロモント」乃チ
 送衆ニ向ヒ今日ノ事誠ニ吾儕ノ奇縁ナリ彼ノ無告
 ノ寡婦ニ慈惠ヲ加ハヘザレバ去ルニ忍ビザル所ナ
 リ君等モ亦同志ナラバ幸ヒナリト云ケレバ各尤ト
 同意シ若干金ヲ扶助シ寡婦ニ相當ノ生業ヲ營ナマ
 シメ公助ヲ願ハズシテ生涯安堵ニ糊口セシメタリ
 ④「ゼ子ラルコッシユスコノ夏
 ホーランドノ勇者「ゼ子ラルコッシユスコハ至リテ慈

善ナル人ナリ一日僧ニ美酒ヲ贈ラントテ從者「セル
 トルト」ニ命ジテ「巴レガ馬ニ乗セ齋ラシ遣リシニ從
 者反テ命メ曰ク僕復タ主君ノ馬ニ乗ル能ハザルナ
 リ其故ハ路傍ノ貧人帽ヲ脱シ恩施ヲ乞フ氏ハ馬駐
 リテ進マズ初其意ヲ知ラザレバ良悟リテ公ノ常ニ
 此馬ニ乗リテ貧者ニ物ヲ給與セルニ馴致シテ如是
 ナルベシ然レバ僕錢ヲ齋ラサバリシ故之ヲ給スル
 為ナシテ馬ノ心ヲ厭足セシメ使テ勤トメ帰レリト
 之ヲ以テ「コッシユスコ」ノ人ト為リテ想ヒヤルベシ

⑤ 日々ノ務

人我ヲ愛セザルハ我人ヲ愛スルノ足ラザルナリ我
 真成ニ人ヲ愛セバ人我ヲ愛セザルハナシ若シ道理
 ニ當リテハ人ニ快ヨカラザル待遇ヲ為サザルヲ得
 スト雖モ我實ニ私欲ナク人ノ幸福ヲ期シテ我ヲ損
 シ人ヲ益スルノ中心ヲ表セバ誰レカ我ヲ友愛セザ
 ラン故ニ人我ヲ愛セザルヲ薄福ト思フベカラズ只
 我ニ反リテ顧ヘリミルベシ是ヲ以テ人ノ愛敬ヲ盡
 クサント欲セバ我カ愛敬ヲ盡サズンバアルベカラ
 ズ

第十五堪忍

惡ヲ惡ミ善ヲ好ミスルハ人ノ性ナリ善行ヲ見善言
 ナ聞ケバ固有ノ良心感發シテ之ヲ喜ヒ愛スルナリ
 惡行ヲ見惡言ヲ聞ケバ又固有ノ良心感發シテ之ヲ
 惡ミ怒ルナリ因テ知ル怒モ亦人ニ欠クベカラザル
 モノニメ善惡ヲ差別スル良能ノ一感格ナリ兇暴無
 道ノ所業ヲ怒ラザルモノハ人ニ非ルナリ故ニ時ニ
 臨ンデ怒ラザルヲ得ズ然レモ節ニ中ルヲ要ス過コ
 スベカラズ其身ヲ傷リ他人ヲ害スルノ行ヒニ渉ル
 ヲ戒シムベシ「セントポール」カ曰ク怒ル可シ罪ヲ犯
 スニ至ルベカラズ又曰ク怒リテ暴ヲ移ス勿レト言

ハ怒ルベクシテ怒ルモ時間ヲ過コサズ速ニ平常ニ復スルヲ云フナリ人ニ激シテ怒ヲ発セシムルハ憎ムベキノ甚シキナリ卑賤ノ者ノ怒リハ罵詈シル口ヲ極メ或ハ撲楚ツチテフチヤウ敲擊ス有位ノ人ノ怒リハ論辨コトノヨミテミライヒトケ批駁シ或ハ兵杖キレモ鬪殺ス状態アサマ如是異ナレ共ニ惡行タル其帰一ナリ平常温和ニシテ自他ノ害ヲ招カザルハ識量アル人ト云フベシ温和ニシテ堪忍スルハ人生第一ノ要務ナリ人ノ怒リニ觸レル事情ハ日々叢起アタリスルモノナリ若シ之ニ應ジ事毎ニ怒ラバ實ニ一生ノ中一日モ愉快ノ日無カル可シ故ニ能ク不平ヲ耐忍タムビテ

自他ノ保全ヲ守ルベキナリ人ニ侵シ背カルトモ之ニ報ヒザレバ人ニ愛セラレベシ人々過チ易キノ身ヲ顧ミバ怒リ咎ムルノ心自然ニ止ムベシ夫レ譴怒ハ害ヲ招クノ路ニメ堪忍ハ害ヲ免カルノ術ナリ堪忍ニ由レハ仇敵反テ親友トナル此風俗盛ンナレバ爭鬪ノ事復起ラザルベシ

①「スコレーテス」ノ意

希臘ノ學士「スコレーテス」ハ温厚ニメ能ク耐忍スルノ人ナリ常ニ友人ニ告テ曰ク我レ愠色アル片ハ必

ズ之ヲ知ラセヨ友人之二告ルニ及ベバ即チ色ヲ和
 ラゲテ黙ス一日其奴ニ對シ大ニ怒ルヲアリシカ我
 レ若シ怒ラザリシナラバ必ズ汝ヲ打ツベシト云ヘ
 リ又一日人ニ濤ニテ撃レタルニ笑ヒ曰ク兼テ曾ヲ
 着スベキニ我レ誤リナリ又一日途ニ貴人ニ遇ヒテ
 之ニ禮セシニ貴人報ゼズ同行友人我等是ノ如キ無
 礼ニ忍ビザル義勇アリト詈リシカ之ニ答テ曰汝若
 シ汝等ヨリ惡キ傲驕ナル人ニ遇フキハ汝其無礼ヲ
 督過スル理アルカト又其妻「ガ」ンチペイナルモノ性
 質悍惡ニノ言フベカラザル待遇ナリ一日大道稠人

中ニテ大ニ恚リ狼入ノ衣ヲ裂キタリシガ友人見ル
 ニ忍ビズ打ツベシト云ヒケレバ答テ曰ク然リ然ル
 片ハ我顧フニ或ハ我ヲ激シ或ハ彼ヲ激メ衆人ノ嘲
 笑ヲ取ルノミ又一日妻甚シク怒リ詈リシニ戶外ニ
 出テ坐セシガ妻其風度平和ナルヲ見テ更ニ怒リ撲
 ニ上リ汚水ノ桶ヲ傾ケ決ギケルニ笑ヒ曰ク雷已ニ
 甚シケレバ驟雨モ必ズ降ルベキナリト

③ 稀異ナル堪忍ノ例

「ゼ」ノワノ學士「アボ」レツトハ曾テ怒リテ忍ヘル人
 ナリ一婢アリ之ニ仕フル三十年未ダ一次モ其愠色

ヲ見ス或人試ミニ主人ヲ怒ラシ者ヨト幾何ノ褒金
ヲ約セシカ婢之ヲ諾シ「アボーレツト」ハ卧床ヲ正ク
設フクルヲ好ムヲ知テ故サラニ棄置キタルカ主人
怪シミ翌朝其故ヲ問フニ婢唯忘レタリト答テ他ヲ
云ハズ是ノ如ク第三夜ニ及ビ主人婢ニ向ヒ曰我顧
フニ汝必ズ故アルナラン恐クハ汝反テ困セン我令
自カラ卧床ヲ備フルニ閑習タレバ我ニ於テ累ヒ無
キナリト婢是ニ於テ抵頭メ首服セリ

③ 惡ニ報ユルニ善ヲ以スル莫
イタリ「」ノ「ゼノ」ト「ハ」貴族共和ノ政治ナリシカ會

貴族政權ヲ失フテ國民共ニ謀テ「ラベルト」ナルモノ
ヲ推ノ長ト為セリ「ラベルト」ハ本ト貧賤ナルモノナ
リシガ才能ト勉強トニ由テ豪商トナリタル人ナリ
後貴族復起テ故ノ如ク政權ヲ覆セシキ再舉ヲ防ク
為ニ勝ニ衆ノ痛ク制服ヲ加ヘタリ乃ハチ「ラベルト」
ヲ叛人トメ之ヲ捕ヘ家財ヲ藉ノ追放ノ料ニ定メテ
貴族ノ長「アドル」之ニ告テ曰「汝本ト卑賤ノ身ヲ
以テ我等貴族ノ政權ヲ能ク奪フタリ今我等寛大ノ
處分ヲ以テ汝ヲ本ノ赤貧ニ復セント其言頗ル傲慢
ナリ「ラベルト」之ヲ聽キ報メ曰ク恐クハ君將來此ノ

言ヲ悔ルコアラント已ニモヲベルトナール至
リ奮ト貸シ付タル金若干ヲ収メベナイスノ管内ア
ルチペレゴ一ノ島ニ如キ商人ト為テ所^{アチ}在遍歴ス
ル中ニモ多クハチニスニ之^ニキタリ此地ノ宗音ハ
ホメツト宗ニ若シ切支丹人ヲ捕フルキハ之ヲ奴
隸ト為スカ定規ナリヲベルト一日チニスノ高官ノ
別荘ニ詣リシキ一少年枷ヲ加ヘラレテ勞作セルカ
支體虛弱ニシ其勞ニ堪ヘス時々大息泣涕スルヲ見
テ大ニ之ヲ憐ミイタリヤ語ヲ以テ慰問セルニ少年
國言ヲ聞テ大ニ喜ビアヘリヲベルト立談ノ中アド

ルノ子タルヲ知り驚キタレモ黙メ去リ徑チニ彼
ノ奴隸ヲ捕ヘタル人ノ家ニ如キ之ヲ二千ドルニ償
ヒ更ニ衣服ヲ備ヘ復奴隸ノ所ニ至リ之ニ告テ曰ク
今汝自由ヲ得タリト自カラ枷ヲ解キ衣服ヲ更ヘシ
メタルニ少年ハ夢ノ如ク如何ナル故トモ辨ヘズ遂
ニ携^{タツ}ヘ帰ラレテ後始テ奴隸ヲ免カレタルヲ知リタ
リ幾バクモナクイタリヤニ航スル舟ヲ求メテ十分
ノ路費ヲ與エテ曰我汝ヲ留メテ共ニ老ンコヲ欲ス
然ルニ汝ノ父ニ報スルコアルヲ以テ汝ヲメカヘラ
シメザルヲ得ズ願クハ汝我ヲ忘ル、コ勿レ我モ亦

汝ヲ忘ル、丁無ケント仍テ手簡ヲ托シ去ラシム少
 年思ヲ謝シ落涙シテ去リ又「アドル」ノ夫妻ハ吾子ヲ
 海ニ没メ死シタルモノト認メテ居タリシガ不意ニ
 其子ノ帰リ至ルヲ見テ相共ニ抱キ付テ雀躍ノ喜ヒ
 其來由ヲ尋子シカバ少年具ニ事ノ始末ヲ述ベ且手
 簡ヲ出シ之ヲ示セリ其書ニ曰ク前日我君ニ悔ユル
 「アラント」云ヒシカ今君ノ一子ヲ救ヒ前言ヲ踐ム
 ヲ喜ブ傲慢ナル貴人へ上ル追放人ヲ「ベルト」トアリ
 「アドル」ノ書ヲ讀ミ了テ覺エズ書ヲ墜シ自カラ愧テ
 両手ヲ面ニ掩フタリ已ニメ思ヲ報ントテ百方盡力

メ「チベルト」ヲ故ニ復シ恩ヲ謝シ交友ノ約ヲ請ヒケ
 リ「チベルト」ハ遂ニ國ニ歸リ衆人ニ貴ハレテ世ヲ終
 へタリ

第十六 温和

通常温和ナル行ヒハ人ニ貴ハル、モノニノ暴戾ナ
 ル為ハ人ニ惡マル、モノナリ従ツテ其欲スル所ノ
 事件ニ成敗アリ何ントナレバ若シカチ恃ミ人ヲ虐
 使スル片ハ忍ビテ之ニ従ヘ心服ニ非ズ故ニ至急
 ノ機會ニ及ベバ從者反テ威權ヲ取り之ニ抵抗ス其
 為ス所ノ事件故ト惡クノ其平日ノ憤懣ヲ泄ス「ト」ヲ

得ルナリ常々人ヲ温和ニ接待スルキハ命ヲ受クル
所ノモノ中心喜ンデ之ヲ為シ報恩ノ意ヲ存ス從テ
其成功望ム所ニ過クルモノナリ

①「ゼヨルゼフ、ホルト」徒刑ヲ役使スル也

英國ニテ罪ヲ犯シタルモノ例ニ依テ米國ノ「ノウソ
」スウエールスヘ放タレ徒刑トナリ殖民ニ從フテ
其田野ヲ畊シ僅ノ雇錢ヲ得テ食トス若シ懦弱乱行
ノ「アル」ハ「ハ」タタル、「ナリ」近コロ「コツクス」ト
云フ豪農「ゼヨルゼフ、ホルト」ヲノ彼徒刑ヲ督セシメ
シニ「ゼヨルゼフ」性質慈善ニメ徒刑ヲ役スルニ「ハ」

ノ苛法ニ代テ他ノ循良ナル法ヲ用ヒタルカ徒刑者
喜ンテ皆能ク勤動シ課業ノ分ヲ過コシタリ一日一
徒刑「ゼヨルゼフ」物ヲ盗メルモノアリ「ゼヨルゼフ」
徒刑ノ者ヲ屬テ曰汝等ノ中ニ盗ヲナセシモノアリ
彼盗ヲ得ル迄汝等ニ定限外ノ雇錢ヲ與エズ若シ索
メウルキハ汝等自カラ罰ヲ加フベシ我元ヨリ「ハ」
ル、人ヲ見ルニ忍ビズ徒刑人皆其温言ニ感ジ幾バ
クモナク盗ヲ得テ之ヲ罰セリ爾後盗及ビ其他ノ乱
行ヲ為スモノナク「ハ」用ル「ハ」無クナリニキ

②「アル」ホ「ソ」ノ「ハ」

「アルホニソ」ハ近世ノ名王ニメ寛大仁惠ヲ以テ贊美セラル「アラゴン」ノ王タル氏王位ノ冠服ヲ着ケズ衛兵ヲ従ヘズ専ラ國民ヲ恤マン「ニ心ヲ盡セリ或人王ニ告テ斯ル片ハ不虞ノ患害アラニモ圖リ難シト云ケレバ王笑テ曰父其子ヲ恐ルベキ理ナシト曾テ水夫ノ徒漂流ノ困メルヲ見テ我モ亦彼困難ノ分ヲ取ントテ小舟ヲ泛テ共ニ進ミケリ一日貴族謀テ王ヲ斃サント盟ヒタル連名書ヲミセケルモノアリシカ王之ヲ見ズノ直ニ之ヲ裂棄タリ王ノ常言ニ曰ク善ノ天ニ守ラル、間ハ仁愛必ズ惡ニ勝ツト

「シ、リ」子「プ」ルノ王死ノ國ヲ「アルホニソ」ニ譲リシカ他ニ競フ者アリテ王已ム「ヲ得ズ戰ヲ為シケルカ遂ニ勝ヲ得タリ蓋シ彼ノ仁心兵力ノ助トナリシナリ」ゲ「タ」ノ要地ヲ得ルモ亦仁術ニ由ルノミ初メ「ゲ」タノ人嬰城ノ拒キタリシガ兵糧ヲ紓ルベシ為ニ老少婦人ヲ驅逐セリ將校ノモノ云之ヲ城ニ追帰シ速ニ兵糧ヲ竭サシメント王之ヲ聽サズ我若シ彼ヲ帰ス片ハ其困難知ルベキナリ故ニ我縦シテ之ヲ無難ノ地ニ逃レシメシナリ麾下ノモノ此ノ行ヲ以テ狂人ノ如ク嘲ケリタルカ且ラクノ城中ノ軍其

仁愛ニ感じテ降りケレバ麾下ノモノ始メテ其良策
 タルヲ知リ感じアヘリ千四百四十二年ニ「アルホ
 ニ」子「アル」王位ヲ踐シヨリ死スル迄二十六年
 ノ間「イタリヤ」中ノ尤モ権威アル王タリ王ノ名史策
 ニ「アル」ホニ「ソ」寛仁ト記メ賛美セリ

第十七 他人ノ什具ニ就テノ良心

凡ソ人已レノ用ニ供スル為メ有スル所「アル」譬ヘバ
 童子ノ翫具書策成人ノ家宅田疇凡正理ニ得タル品
 物皆己レカ有ナリ他人一モ之ヲ妨害スルノ理ナシ
 夫レ人已レカ務メテ得タル品物ヲ他人之ヲ奪フハ

ハ勞動スルモノ功ヲ収メズシテ勞セザルモノ反テ
 益ヲ得ル人皆功利ヲ得ント欲メ勞スルモノナリ若
 シ其功利ヲ非理ニ奪ハル、恐アルキハ人誰カ解體
 セザラン是レ膚淺ノ道理ト雖凡民俗皆之ニ倣フニ
 至レハ國中勞作ノ功利ヲ失フテ大患ニ至ルナリ故
 ニ他人ノ所有ハ蒸餅ノ一片ダモ取ラザルヲ要ス孩
 童ハ慮リナク此理ヲ知ラズ軼モスレバ已レノ力ニ
 及ブ片ハ他人ノ物ヲ擽メ取テ樂シム其童ヲメ已レ
 ノ物ヲ奪ハル、片ハ何如ニ憂悶スルカラ顧ミセシ
 ムベシ是亦訓導ノ一端ナリ

盜ハ若シ捕ヘラル、件ハ罪ヲ赦サレズ盜ヲ為スモ
ノハ追捕ヲ逃レ刑罰ヲ免ル、トヨ幸^ト然ルニ罪ノ
頭ハル、ハ曾テ犯人ノ心ツカザル所ヨリ頭ハル、
モノナリ故ニ他人ノ功利ヲ奪フモノハ其報衛リ來
リテ終ノ令^{ヨク}セサルナリ唯廉直ハ人衆世ヲ涉ルノ大
良策ナリ

○ミラシノ守門者ノ責

人ノ所有ノモノハ其人厭ヒ嫌ヒテ之ヲ棄ルカ或ハ
法ニ觸レテ官ヨリ之ヲ収ムルニ非レバ皆其人ノ有
ナリ故ニ他人ノ遺シタルモノヲ拾フ氏ハ之ヲ其人

ニ還スハ當然ノ務ナリミラシニテ大家ノ守門ノ老
夫一日二百圓ヲ盛レタル囊ヲ拾ヒタリ老夫直チニ
呼子ヲ雇フテ金主ヲ搜索シ之ヲ還セシニ金主二十
圓ヲ老夫ニ謝礼セシカバ老夫辞メ曰我只此務ヲ為
タルノミ何ノ謝ヲカ之レ取ント金主減メ十圓ト為
ス又受ズ又減メ五圓トス猶受ズ金主大ニ困シテ金
囊ヲ地ニ投ケ叫ンテ曰嗚呼此金我カ有ニ非ズ我復
是金ヲ何如ニヒスル能ハズ老夫遂ニ五圓ヲ受ケ後
ニ之ヲ貧人ニ施シ與ヘタリ

○リヨ一ナルドノ責

...

リヨ一ナルド十二歳ノ時父ヲ喪ヒ母子自カラ存ス
 ルヲ能ハズ且親友ノ扶助スルモノモ無クリシカバ
 リヨ一ナルド自奮シテ曰我能ク讀ミ能ク書キ能ク
 算ス若シ我廉直ニカ作スルキハ何ゾ衣食ヲ得ザル
 ノ患アラシヤ因テ母ニ請ヒ隣リノ都府ニ至リ父ノ
 友ベンソント云ヘル商家ニ詣リ厩役タラントテ乞
 ヒケレバベンソシ之ヲ許セリ已ニメリヨ一ナルド
 若シ誤失アルキハ直ニ首服メ罪ヲ謝シ勤勞ヲ以テ
 之ヲ償フヲ請フ之ニ因テベンソシ大ニ信用シテ
 之ヲ愛セリベンソシノ家ニ女宰アリ常ニ不正ノ所
 ヲヲチバドク

業ヲナス主人ノリヨ一ナルドヲ信用スルヲ已レテ
 監セシムルモノト疑ヒ畏レ惡ミテ之ヲ却ケント計
 リ種々ニ讒ヲ構ユレモ主人曾テリヨ一ナルドカ品
 行ノ善ヲ知リタレバサラニ聴容レズリヨ一ナルド
 ノ信義ヲ彼女ニ知ラセントテ故ト過分ノ金ヲ持セ
 テ物ヲ買ヒニ遣リシカ一錢モ私セザルヲ以テ主人
 之ヲ彼女ニ示サレタリ又一日故ト金ヲリヨ一ナル
 ドノ傍ニ棄置テ退キシカ彼婦リヨ一ナルドニ勸メ
 テ此金ヲ拾ヒ之ヲ分タント云ケルガリヨ一ナルド
 少シモ擬議セズ我此遺金ヲ主人ニ報ジ知ラセント

云ヒテ従ハズ是ノ如鹿直ナルヲ以テ大ニ主人ニ愛
セラレシカ後遂ニ養子ト為シ其家ヲ譲リタリ

③「モセス、ロツスキルド」ノ支

「フランス革命ノキ」セルマン「フランクホルト」ニモ
セス、ロツスキルドト云フ両替屋アリ頗ル人ノ信用
ヲ得タル人ナリ佛軍「セルマン」ヲ攻ムルキ「ヘツスカ
ツサル」ノ候其軍ヲ避ケ「フランクホルト」ニ如キ「モセ
ス」ニ金貨ヲ托セン「フ」ヲ請ヒタルカ斯ル危難ノキナ
レバ固ク之ヲ辞シタリ強ヒテ請ハレタルニ因テ辞
スル「フ」ヲ得ズ然レモ支券ヲ與フルヲイナミタリ斯

ルキニ當テハ無難ヲ保シ難ケレバナリ已ニメ候數

千「ポンド」「我が金貨ノ名一「ポンド」ハ凡ソノ金及ビ寶貨ヲ

「モセス」ニ送リシガ會佛兵侵シ至ル「モセス」遽テ、之

ヲ疇ノ一隅ニ埋藏セリ事急ニメ六百「ポンド」ノ我財

ヲ藏スル能ハズ佛兵乃ハ子之ヲ奪ヒ去リ他財ヲ疑

ハズ事果テ後「モセス」疇ノ金ヲ出シ一分ヲ用テ産業

ヲ營ミシガ數年ノ後兵乱定テ「ヘツス」ノ候其國ニ復

シ試ミニ「モセス」ヲ召シ之ヲ問フニ無難ナル上ニ更

ニ五分ノ息錢ヲ加ヘ之ヲ償ハント云ヒケレバ候大

ニ驚キタリ且藏シタル状ヲ具ニ述べ彼一分ヲ用ヒ

修身小傳 卷之十

タルヲ謝シケレバ候「モセス」ノ公直ニ感メ其金ヲ取
 ラズ僅ノ息錢ヲ以テ再ヒ之ヲ托セリ且歐州各國ノ
 王候ニ「モセス」ノ公直ナルヲ告ケレバ王候皆「モセ
 ス」ヲ銀主ト為セリ「モセス」是ニ依テ大ニ富ヲ得タリ
 「モセス」三子アリ一子ヲ英府「ロンドン」ニ一子ヲ佛府
 「パリ」スニ一子ヲ豪府「ウヤナ」ニ遣ハシ皆豪富ノ兩替
 屋ト成レリ遂ニ帝王ノ軍ヲ為スト為ザルハ「モセス」
 家ノ金貨ノ有無ニ由ルホドノ豪族トナリシモ獨リ
 「モセス」ノ善性公直ノ一徳ニ在ルノミ
 第十八他人ノ名譽ニ就テノ良心

人賈直ヲ立ツベキ實物ノ外ニ無形ノ賈直アリ名譽
 ハ其一ナリ夫レ名譽アル人ハ衆ニ貴重信用セラレ
 ルモノナリ人善ク之ヲ稱スルハ其人ニ由テ方
 事益アリ若シ非理ニ之ヲ毀ツハ其人害ヲ受ク他
 人其害ヲ受ルヲ省ルヤ遂ニ德行ノ善ヲ廢メ修メザ
 ルニ至ル故ニ功業ニ從フテ相當ノ賞美ヲ與フルハ
 要事タリ
 人ノ名譽ヲ害スルニ二方アリ隣人ヲ害セントテ全
 ク誣譖ナルニ明ニ人ニ告ケアル惡業ヲ犯シタリト
 云フ是ヲ誣罔ト云フ一ナリ又人ノ美德ヲ嫉ミ微事

論語

三十三

ヲ飾リ人ヲ讒スルヲ誹謗ト云フニナリ右ニ方ヲ以テ人ヲ害スルハ物ヲ盗ム惡業ヨリ輕ク見ユルト雖凡其害ヲ施スニ至テハ猶大ナリトス言一タビロヲ發スレバ挽回スベカラズ惡評發布スルニ從フテ漸々大トナル本人ハ知ラズ知ラズノ難ニ罹ル名譽ニ就テノ良心ヲ存スル人ハ曾テ人ヲ誣罔セズ誹謗セズ他ノ惡聲ヲ聞凡洩スナシ常ニ善事ヲ為サズ害ヲ為スベキ言語ヲ發セサルヲ至大要務トス

○「スコレーテス」誹謗ノ為ニ冤死セシ吏

希臘ノ博士「スコレーテス」ハ當時ノ尤賢ナル人ナリ

「ゼノホン」贊ノ曰「スコレーテス」ハ諸神ノ勅旨ヲ請ハザレバ何事モ為サザリシ信心者ナリ人ニ對シ微少ノ害ヲ為サズ勉テ人ノ大益ヲ謀ル廉直人ナリ佚樂ヲ好マズノ徳ヲ好ム人ナリ機務雜擾ノ時ニ臨ンテ他人ノ諮詢ヲ須ズ自カラ至當ノ策ヲ立ル賢人ナリト專ラ人ヲ善ニ導クヲ務メタルカ遂ニ誹謗ヲ免ザリシナリ

是時一派ノ教師アリ元ヨリ誠實ヲ主トセズ只己ノ高名ヲ顯ハサント欲シ巧言ヲ以テ人民ヲ欺罔セシカ「スコレーテス」ノ賢ニ誠實ヲ貴ビ已レニ黨セザ

ルヲ疾メリ又國俗不良ノ件々ヲ指斥シタルヲ以テ
 官人ノ惡ヲ受タリ是等ノ人遂ニ一致ノスコレーテ
 スヲ罪ニ陷レタリ「オク」ゼンス人ハ惑ヒ深キ風習アリ
 テ諸神ヲ崇奉ス然ルスコレーテスハ造物主神ノ外
 他神ナキヲ信ゼリ但ニ俗ノ從ハザルヲ恐レテ「コト」ニ
 國ノ宗旨ニ從フテ己カ意ニ秘シタリ惡黨之ヲ察シ
 諸神ヲ敬崇セザルヲ以テ之ヲ毀タルカ國人舉テ之
 ニ黨セリ時ニスコレーテス官府ニ詣リ其理ヲ明ニ
 陳ブレ「コト」寡ハ衆ニ敵シ難ク遂ニ罪ニ服シ毒藥ヲ飲
 テ死タリ嗚呼世ノ賢豪誹謗ヲ以テ亡ビタリ之ヲ何

ニトカ云ハンヤ

第十九 生徳ニ就テノ良心

人皆已レノ身體ヲ自由ニスル権アリ故ニ何ヲ以テ
 樂シム凡人ヲ害スルニ至ラザレバ他ヨリ敢テ之ヲ
 制スベカラズ又政治ヲ損傷スルノ患無ケレバ欲ス
 ル所ヲ立言シ公布スルモ又制スベカラズ人ヲ奴隸
 ト為シ或ハ其害ナキ立言ヲ沮ムハ生徳ヲ傷フモノ
 ニノ地ヲ奪ヒ金ヲ盗ムト同キナリ

①「コト」フラン「コト」スノ「コト」ジャックワイ「コト」ル一揆ノ吏

王候貴人ハ平人ノ上ニ在テ権威ヲ握ル者ナリ此権

修身小學 卷之下

威ヲ以テ民ヲ御スルニ仁愛公平ニメ民ノ裨益ヲ計
 ラズンバアルベカラズ若シ然ラザル片ハ其害測ル
 ベカラザルモノアリ何ントナレバ民ハ公平仁慈ノ
 法律ニ從フト雖モ苛烈不正ノ處置アル片ハ上ヲ怨
 ミ叛クニ至ルヲ常ナリ千三百年「フランス」ニ於テ「ジ
 ヤックワイル」ノ軍ハ國民政治ノ苛烈ニ堪ズノ爲シタ
 ル一揆即其一例ナリ
 「ジヤックワイル」トハ即百姓一揆ニメ「フランス」ニアリ
 シ大騷擾ナリ元ト國民諸候ノ虐政ニ堪ヘズノ爲シ
 タルナリ當時ノ貴族百姓ヲ視ルヲ禽獸ノ如キノ百

姓ノ進退及其所有ノ品物皆已レノ欲スル所ニ從フ
 テ之ヲ取り各自ニ驕奢ヲ極メリ是時王英國ニ囚ハ
 レ國民援ケヲ望ム所ナシ故ヲ以テ擾乱ニ及ブ國民
 各自ニ鎌鋤等ノ農具ヲ執リ所在ニ蜂起ス大勢ヲ以
 テ諸候ノ家ヲ毀テ城ヲ破リ貴人ノ家族ヲ捕ヘ戲弄
 ノ之ヲ殺セリ其殘忍ナルヲ虎狼ノ如ニメ復人情ナ
 シ夫レ諸候初メ之ヲ制スルニ權威ヲ以テ下民ヲ束
 縛シ奴隸ト為ノ之ヲ苦シムレバ下其怒リニ堪ズ一
 且其縛ヲ絶ツニ至リテハ暴戾縱横是ノ如キニ至ル
 後監トナサミルベケンヤ

第二十務ニ就テノ良心

若シ人雇金ヲ約メ役セラル、片ハ宜ク精心ヲ竭メ其勤ヲ遂クベシ不正ニ其課ヲ怠ル片ハ財主ヲ欺キ金ヲ奪フニ等シ譬ヘバ財主ニ毎日十時間ヲ務ムト約メ一時ヲ偷ム片ハ即雇金ノ十分一ヲ奪フタルモノナリ

人正直ナル譽ヲ得ント欲セバ約スル所ノ事ヲ親切ニ為ルヲ要ス

凡人或ハ一國ノ為ニナスベキ務アリ殊ニ信義ヲ要ス官吏ヲ選舉スルトニ於テハ其任ニ當ルモノ國ノ

為ヲ主トシ請托ヲ以テ妄舉スベカラズ官吏亦國ニ忠直ヲ竭サルベカラズ法官ハ公直ニ事ヲ断ズベシスベテ公務ハ恐懼私思ヲ懷テ正理ヲ傷フトナカレ

若シ朋友我ニ事ヲ謀ル片ハ之ヲ論スニ已レカ本心ヲ以テ至善ナル道ヲ告クベシ或他人我カ朋友ヲ用ントメ其品行ヲ來リ問フトアラバ是又實ヲ告ゲザルベカラズ若シ朋友ヲ私愛シ或ハ之ヲ怒ラスノ恐ヲ以テ偽リ告クルハ人ヲ欺クモノナリ是ノ如キ時ニ當テハ甚ダ難事ナリト雖モ務メテ誠ヲ告ゲザル

ベカラズ

○大統領ワシントンノ公直ナル也

合衆國ノ第一大統領ワシントン一友アリ獨立戦争ノ時英軍ニ向テ共ニ戦ヒ日々座右ニアリテ親ミ交リケルカ此友人農夫ニシテ温厚ナルモノナレバ他ノ才能ナシ會ワシントンノ専ラニスル所ノ官吏一人關ケタレバ衆人皆彼ノ人補セラル、ト思ヘリ然ルニ一人アリ曾テワシントンノ議ニ抵抗シ且ワシントンヲ陥ント謀リタル人ニシテ又ワシントンノ親友ト仇ナリシガワシントン彼ノ人ノ才能用ユベキヲ

知テ之ヲ其任ニ充タリ或人此處置ヲ愚トシワシントンニ告ゲタルニ答テ曰我レ友ヲ愛スルハ我赤心ヨリ出ツ然ルニ彼レ事ニ任ズル才能ナシ彼仇人ハ此才アリ故ニ我レ之ヲ舉スルノミ公道ノ間ニハ私愛及バザルナリ我レ今日シヨールジ、ワシントンニ非ズメ合衆國ノ大統領ナリ若シワシントンタラバ我友ヲ用ユベケレバ大統領タラバ私ヲ為スベカラズ

○法官がスコインノ也

英國ヘンリー四世ノ太子道ヲ知ラザル人ニ非レバ

幼少ノ時暴戾ニシテ常ニ兇徒ヲ友トシ遊ビタルガ一
且兇徒一人捕ハレシニ世子之ヲ救ハンコトヲ盡カシ
タレバ法官ガスコイン^レ之ヲ聽カズ罪ニ處セシカバ
太子怒テガスコイン^レヲ打タリガスコイン^レ太子ノ推
ヲ避ケズ務ヲ重シメ自カラ危難ヲ顧ミズ又太子ヲ
罪メ獄ニ繋ケリ太子漸ク悟リテ已レノ過ヲ知り之
ニ抗セズメ従容トシテ罰ニ従ヘリ王之ヲ聞テ喜ビ
歎シテ曰ク是ノ如ク義勇ナル官吏アリ是ノ如ク罰
ヲ受ル子アルハ我カ幸ナラズヤ

第二十一負債ニ就テノ良心

人若シ雇夫ヲ使ヒ或ハ品物ヲ買フテ見ニ之ヲ償ハ
ザルヲ債ト云フ國家ノ用ニ當テハ債ヲナサザルヲ
エズ平民ノ上ニ在テモ時トメ相假リ相貸スヲ便宜
トス然ルニ財主之ヲ人ニ貸スニ必ズ信義ヲ察セザ
レバ之ヲ貸サザルナリ若シ財主ヲ欺キ已レニ償フ
ベキ目的ナキニ之ヲ借り已ニ勞セズメ他ノ財ヲ費
ヤシ生活スルハ實ニ盜ヨリモ猶卑キモノトメ可ナ
リ
善人ハ已ムコトヲ得ズメ金ヲ借ルキハ先ツ其償フベ
キヲ計リ然クメ償ヒ終ル迄之ヲ忘ルコトナシ或ハ不

意ニ償フヲ得ザレバ大ニ之ヲ憂ヘ勉強シテ之ヲ償ヒ終ラザンバ止マズ

○「パレース」候ノ支

凡ソ百年前「ゼルマン」ノ一部「パレース」ノ候倉廩空シク大債アリテ之ヲ償フ道ナク常ニ之ヲ憂悶シタルニ近臣議メ國民ニ新稅ヲ加ヘテ之ヲ償ント請ヒシニ候之ヲ允ルサズメ從者及ビ服御物ヲ減ジ國ヲ去リゼノ「ワ」ニ如キ衣食平民ノ如ク儉節シ金ヲ貯ハヘ債ヲ償ヒ然ル後本國ニ歸リテ服御皆故トニ復シタルガ國民是ニ由テ大ニ候ヲ敬愛セリ

○「ウイールリント」候ノ支

「ウイールリント」候ハ歐州ヲ撥ケ「ナボレ」ノ軍ヲ破リタル高名ナル人ナリ初メ父七千「ポンド」ノ債ヲ貽メ卒シタリ公其債ヲ償フニ術ナケレバ良心ナル故ニ家祿ヲ自己ノ用ニ費ヤサズ大ニ節儉ノ遂ニ盡ク債ヲ償ヒタリ
財主ノ一人百五十「ポンド」ノ支券ヲ持チ來リ公ニ債ヲ促シタルカ公彼レ真ノ財主ニ非ズメ本主ヨリ五十「ポンド」ニテ此券ヲ買ヒ求メタルヲ知り曰我當然ニ之ヲ償ハントテ五十「ポンド」ヲ遣ハシ然クメ彼ノ

本主ヲ索メテ之ニ殘金ト息銀ヲ加ヘテ償ヒタリ

第二十二姦利ニ就テノ良心

人貨財ヲ得或ハ上達スルニ國法ノ禁ヲ破ルニ非レ
凡人ヲ妨害スルノ方便ニ由テ遂ケ得ルヲ數々アリ
然ルニ已レ欲セザル所人ニ施コスヲ勿レノ格言ヲ
守ル人ハ斯ル鄙事ヲ為スベカラザルヲ知テ惑ハザ
ルナリ

○「ジョーヂ、デート」ノ夏

「ハツチンハンシヤ」ニ「ジョールジデート」ト云貧兒
アリ一老婦ノ為ニ恩育セラレタリ一貴人ノ家ニ務

メケルガ小厮ヨリ上リテ家宰ニ至レリ主人ノ妹ア
リ未ダ嫁セス「デート」ガ廉直謹慎ニメ又容貌アルヲ
見テ竊カニ愛慕シ其氣色ニ頭ハレケレバ「デート」以
為ラク之ニ乗ジ私スレバ其身ヲ利スルヲ疑ヒナシ
然レモ己ガ身卑クシテ苟モ是ノ如クナラバ主人及
ビ一族ニ邊閥ヲカケ且ツ是ニ因テ上達ヲ求ムルハ
道ニアラズト良心之ヲ聽サレバ遂ニ之ヲ主人ニ
吐露シテ彼妹カ情ヲ絶タシメン「デート」ヲ請ヒケルニ主
人其克己ノ良心ヲ感賞シ直チニ妹ヲ他處ニ移セリ
然ル後「デート」ヲ仕官セシメタルガ「デート」才能力
三十一

精トニ由テ累リニ上達シ數年ノ後位高ク身貴クナ
リテ彼ノ女ヲ娶ルニ匹耦ヲ耻ザルニ至リ遂ニ之ヲ
聘シタルガ主人一族ハ大ニ悦ビ之ヲ聽シタリ

第二十三商賈ニ就テノ良心

賣買ノ道モ亦固ヨリ互ニ廉直ヲ主トスベシ故ニ先
ツ度量衡ヲ用ユルニ毫釐モ差ヘズ贋作ヲナスコト
ク價直ヲ均等ニスベシ若シ商人誤テ我ニ過分ノ物
ヲ與フルヲ知ラバ速ニ之ヲ歸スベシ或ハ商人ノ利
ナリトシテ物ニ過分ノ利ヲ取り或ハ相欺キ唯茲利
ヲ要スル物アリ若シ是ノ如キモノ發覺スル片タト

コケシ

ヒ官府之ヲ罰セザルモ隣人必ズ之ヲ擯斥シテ交ラ
ズ乃ハ子廉直ニ非ザレバ繁榮スル能ハザルヲ知ル
ベシ

○廉直ナル小厨ノ事

一農夫其子ヲ「ニウヨルク」ノ一商家ニ属シタルカ其
子務ヲ善クセリ一日一婦人肆ニ來リ絹衣ヲ買ヒタ
リシニ彼ノ小厨其衣ヲタミタルガ穿アルヲ見テ
婦人ニ之ヲ示シテ曰貴女我レ君ニ此穿ヲ示スハ吾
務ナリト婦人之ヲ見テ買フコトヲ止メタリ主人之ヲ
聞キ大ニ怒リ直ニ小厨ノ父ニ書ヲ遣ハシ速ニ携テ

歸ルベシト告ケレハ父曾テ其子善良ナリト思ヒシ
 ニ其書ヲ見テ大ニ驚キ遽テ、來リ其故ヲ問フニ主
 ノ告ルニ前日ノ事ヲ以テシ且曰此兒商人ノ才ナシ
 客ノ物ヲ買フキハ彼レ自カラ細カニ之ヲ閱スベシ
 若シ其穿ヲ知ラザルハ彼レノ誤ナリ父曰然ラハ吾
 子ノ誤ハ是ノミカ曰ク然リ曰ク然ラバ我益々吾子
 ヲ愛セン向後汝ノ家ノ恩ヲ受クルヲ欲セズト云ヒ
 ツ、携ヘ歸レリ

◎火藥交易ノ話

凡ソ百年前北アメリカノ「ミツソーリ」川ノ邊ニ住メ

ル土人未タ歐人ト交ハラサリシ時歐洲ノ一商人銃
 ト火藥ヲ持チ來リ用法ヲ土人ニ教エ毛皮ト交易シ
 タリ其後「フランス」ノ一商人毛皮ヲ求メテ火藥ヲ
 持チ來リシニ土人已ニ之ヲ得タリト云フテ取ラザ
 レハ佛人之ヲ欺キ是レ火藥ニ非ス穀實ナリト云ヒ
 ケレハ土人質朴ニ之ヲ信シ毛皮ト交易セリ已ニ
 メ土人之ヲ地ニ種ヘテ其生長ヲ期シタルニ何物モ
 生ゼヌ始メテ欺レタルヲ知り大ニ悔ヒタリ會向ニ
 欺キタル人已レ再ビ來ルヲ恐レ他人ヲ其地ニ遣ハ
 シタルカ土人知ラス為メ其人ヲ善ク待シ庫ヲ借シ

蓋ク商品ヲ蓄ヘシメテ後土人聚リ至リ大ニ嘲弄メ
 瞬間ニ彼ノ商品ヲ奪ロ去リタリ佛人此暴行ヲ居民
 魁首ニ訴ヘケルガ答テ曰ク向ニ汝カ同輩我土人
 ニ與ヘタル穀實ノ芽ザス迄ハ汝ガ訟ヲ聞ス若シ芽
 サス時ハ我レ汝ニ奪フタル商品ノ價トメ毛皮ヲ與
 ヘント佛人大ニ窘ナク更ニ詒ヒテ曰ク彼ノ穀實佛
 土ニ於テハ能ク蕃殖ス然ルニ此地ニ生長セサルハ
 他ナシ地ニ適セザルナリト居民既ニ火藥タルトヲ
 熟知シタレバ遂ニ之ヲ聽サズリキ
 是ノ如ク佛人彼ノ土人ヲ欺クト數々ナリケレバ

遂ニ交通ヲ絶キ佛人其大利ヲ失フタリ是等ノ欺罔
 ハ常ニ已レテ斃スノ根原トナルモノナリイギリス
 ノ一部ニ絹ノ製造ヲ止メタルモ贖物ヲ出シタル故
 ナリ又「アイルランド」ハ英ノ全國ニ備フル麻ヲ生ズ
 ト雖モ英人之ヲ用ヒズノ外國ヨリ輸入スルハ「アイ
 ルランド」ノ麻ハ重サヲ加ヘン為ニ水ニ浸シ或ハ土
 ヲ加ヘタルヲ以テナリ凡人廉直ノ商人ニ就テ品物
 ヲ求ムルハ勿論ナリ故ニスベテ商人ハ廉直ヲ以テ
 第一ノ要務トス

第二十四約束ヲ遂グル良心

人若シ約ヲ結フキハ互ニ之ヲ遂クルヲ善トス故ニ
 老少ヲ問ハズ一タビ約ヲナス片ハ假令ヒ自己ヲ損
 スルモ必ズ之ヲ遂クベシ且ツ約束ノ事件何ホト些
 少タリモ之ヲ輕ンズルハ惡シトス此惡習遂ニ大事
 モ違約スルヲ顧ミザルニ至リ人ニ賤マレ損ケラレ
 テ世ヲ涉ルコト能ハザルナリ

○ムール人スペイン人ヲ助ケタル事

數百年前ニムールト名ヅクル人種スペイン國ノ一
 部ヲ領シタル頃一日スペインノ一貴人一ムール人
 ト争フテ遂ニ之ヲ殺シ直ニ逃レテ一ムール人ノ家

ニ投メ匿サレンコトヲ乞ヒタリムールノ俗ニ共ニ物
 ヲ食スル後ハ死ヲ相契ルコトアリ時ニ主人「スペイン
 人ヲ助クル信證トモ共ニ飲食シ一室ニ匿シ置キ夜
 ニ至ラバ他所ニ逸シ遣ルベシト約シタリ且ラクメ
 彼ノ「スペイン」人が殺シタル人ヲ「ムール」人相見シ
 至ルニ此殺サレタル人ハ即其家ノ子タリシ主人乃
 ハチ彼「スペイン」人ハ我子ノ仇タルヲ知レモ前約ヲ
 違ハズ夜ニ及ンデ「スペイン」人ニ駿馬ヲ與ヘテ之ヲ
 逸セシメントスル片之ニ告テ曰ク我子ヲ殺シタル
 ハ汝ナリ我此罪ヲ討スベキナレモ已ニ汝ト食ヲ同

フシ約ヲナシタレバ敢テ之ヲ破ラズ夜ニ衆メ遠ク
逸シ去リ難ヲ免レヨタトヒ汝ハ我子ヲ殺シタル罪
アレバ我汝ヲ殺ス罪ナキヲ喜ブ且ツ約ヲ破ラザル
ヲ天ニ謝スルナリ

③佛国ノ王「ジョー」ノ衰

佛王「ジョー」英ノ太子「エドワード」ト戦ヒ敗レテ虜
トナリ太子ニ率ヒ歸ラレ英ニ囚ハラル、ト四年後
赦サレテ英王ト約ノ佛人ニ説キ和ヲ講ジ償金四百
万圓ヲ英ニ輸クルヲ議シタリシガ國人之ヲ肯ハ
ズ「ジョー」約ノ成ラザルヲ以テ敢テ國ニ止ラズ再

ビ英ニ之キ囚ハレトナラント決セシガ近臣之ヲ止
ムレバ聴カズメ曰今我囚人トナリタレバ固ヨリ王
威ノ望ナケレバ猶誠實ト玉タルノ権ハ心中ニ存セ
ザルベカラズト遂ニ再ビ英ニ至リ囚人トナリ「ロ
ン」ニテ没シタリ

第二十五惡業ヲ戒シムル良心

風習ニ染リテハ其非ヲ顧ミズメ常ニ惡事ヲ為スモ
ノアリタトヘバ美ナル垣牆ヲ毀テ新シキ看板ヲ汚
シ壁墼ニ落書シ花園ヲ踏藉シ逆旅ニ宿シ物ヲ害ヒ
奪フ等皆無益ノ惡業ナリ

スベテ物ヲ損傷スルハ自己ノ物他人ノ物ヲ論ゼズ
 皆人ノ樂ヲ亡シ畢竟國ノ損トナルモノナレバ慎デ
 為スベカラザルモノナリ
 人互ニ不善ノ嘲弄ヲナシ無辜ノ獸類ヲ害シ或ハ闇
 ニ就テ人ヲ劫ユシカノ樂ムモノアリ甚ダ無益ノ惡行ナリ
 斯ル戯レニテ兒輩氣絶シタルヲ數々アリ又質朴ナ
 ル小兒ニ對シテ虚言ヲ告テ樂ミ重キ物ヲ犬ノ尾ニ
 縛リ犬ヲ啖メ猫ヲ害シ鳥ニ石ヲ投ズル等已レ樂ン
 トメ何ソ無毒ノ畜類ヲ害スルヤ
 無益ノ惡業ニメ猶甚シキモノアリタトヘバ人ニ宿

怨アリテ夜ル潛カニ其人ノ林ニ往キ少キ木ヲ斬リ
 或ハ野ニ往キ牛馬ヲ劫カシ之ヲ逸セシムル等ナリ
 スベテ善人ハ是ノ如キ惡業ヲナサズ古語ニ曰勉メ
 テ善ヲ行フ者ハ德其身ニ歸シ惡ヲ人ニ施スモノハ
 害及テ其身ニ及ブ其入長
 ①象ト裁縫匠トノ話
 昔シ印度ニ裁縫匠アリ一日美麗ナル衣裳ヲ縫ヒタ
 ル片象来リテ窓ヲ窺フニ戯レニ針ヲ以テ不意ニ其
 鼻ヲ刺キタルニ象直ニ退キ川水ヲ其口鼻ニ含ミ來
 リ彼人ニ注キカケタレバ彼衣裳ヲ浸汚シ近隣ノ人

ニ猛惡ノ罰ナリト笑ハレタリ

第二十六誠實

誠實ハ人生ノ須臾モ離ルベカラザル至要ノモノナ
リタトヘバ人アリ一日旅行シ疲勞シテ村落ニ達シ
小兒ニ次ノ驛迄ノ里數ヲ問フニ小兒六里アルヲ欺
キニ里ト云フ片ハ其人是ニ由テ勉強シテ歩ヲ進ム
ルニ大ニ道ノ遠キヲ苦ミ或ハ大ニ憊^{ツカ}レテ病ヲ生ズ
ルコアリ是レ小兒虚言ノ害ナリ
シヨーン^セムスノニ兒各玉ヲ持ツニシヨーン^シノ
玉少シ好キモノナルヲゼームス^シ之ヲ誣ヒ奪ハント

テ是レ我カ玉ナリト已レガ常ニ驅使スルヘンリ
ヲ證人トナスニヘンリ^シシヨーン^シノ玉タルヲ知レ
凡打タル、ヲ恐テゼームスノ玉ナリト云フシヨ
ンハ素ヨリ已レガ玉ヲ固ク持シ與ヘズ遂ニゼーム
ス^シシヨーン^シヲ打チ互ニ相争フニ長老來リ誰ヨリ争
ヲ始メシトヘンリ^シニ問フニヘンリ^シ又ゼームス^シ
ヲ恐テシヨーン^シ之ヲ挑^ヒミシト云然ル片ハシヨーン^シ
答ヲ受ケンコ必セリヘンリ^シニツノ虚言ヲナスモ
ノニモ尤惡業ヲナシタルナリ世界ノコニ於テ成人
ノ中ニモ虚言ヨリメ甚シキ患害ヲ生ズルコアリ隣

人々虚言ニ由テ名譽家産ヲ失ヒ或ハ身命ヲ害スル
モノアリ人知少ヨリ誠ヲ云フヲ習ヒトスルハ身ヲ
脩ムルノ要事ナリ

虚言ニ數種アリ子弟惡業ヲ為シタル氏父兄ノ怒リ
ヲ恐レテ掩^カヒ隱^カスモノアリ智アルモノハ呵責ヲ恐
レズシテ誠實ヲ白スルナリ何ントナレバ一ノ虚言
他ノ虚言ヲ導ビキ人竟ニ其言ヲ信スルモノナキニ
至ルモノナレバナリ利ヲ得ン為ニ虚言スルモノハ
過ヲ逃レン為ニスルモノヨリモ其罪大ナリトスタ
トヘバ小兒母ヨリ土曜日毎ニ一ペニニ「^ラ」ヲモラヒ

ナガラ父ニ未ダモラハザルト偽リ之ヲ求ムルハ耻
ヅベキ虚言ニメ穿^ス踰ノ類ノミ已ヲ助ケント欲シテ
他人ヲ讒スルハ甚^クタ耻ヅベキ虚言ナリ
人故ト虚言セザレ^ドモ怠惰急迫及ビ過慮ヨリ起ル一
種ノ虚言アリ學士「サメール、シヨンソ」ノ説ニ虚言
ハ欺ムクノ心ヨリモ誠ヲ重ンゼザル心ヨリ起ルモ
ノ多シト云ヘリ徒ニ人ヲ慰メントテ妄誕ヲ吐クモ
ノ多シ又工人ノ僻トメ期限^ヲ遲^ラ緩シ又カノ及バザル
事ヲ誣ヒ能クスト云フ皆虚言ニ属ス
奇談ヲ為シ人ヲ驚サントメ人ノ害ヲ顧ミズ妄言ス

ルモノアリ其云フ所全ク虚ニ非ザレモ浮華ニ過ル
カ故ニ遂ニ虚言ヲ免レズ是レ等ノ人常ニ珍奇妙怪
等ノ形容語ヲ用ユルモノナリ
一小兒父ニ告テ曰ク我レ昨夜犬ノ大群スルヲ見タ
リ恐ラクハ五百ナルベシ父曰必ズシモ尤ハアラズ
兒曰然ラバ一百ナラン父猶許サズ曰我レ是ノ里ニ
斯ル大數ノ犬アラザルヲ知ル兒曰然ラバ十頭ヨリ
下ラズ父曰我猶信ゼズ何ントナレバ汝此小數ヲ見
テ初メ五百ト云又一百ト云今十足ト云ヘバナリ兒
遂ニ屈シ然ラバ少ナクモ我家ノ二頭ヲ見タルナリ

是話ハ物ヲ大ニ形容シテ夸耀スル虚言ノ例ナリ西
印度ニ住メル無學ノ人嘗テ夏月朝四時ニ太陽ノ上
ルト人ノ語セルヲ聞キテ曰我「ヤマイカ」ニ於テ二三
時間ニ太陽ノ上ルヲ見タリト妄言セリ此人大陽ノ
二三時間ニ上ルハ「ヤマイカ」ノ如キ赤道近側ニハア
ラスノ南北兩極ニ近寄ラサレハアラサルヲ知ラサ
ルユヘナリ
誠實ハ万事ニ就テ離ルベカラサルモノナリ故ニ歴
史ヲ學ハント欲セハ尤モ正シキ書ニ就テ學フヘシ
學業ヲ磨カント欲セハ確證ナキモノハ信スベカラ

ス經驗ト小心注意トニ由テ學ノ深旨ヲ達スルモノ
ナリ虚説ハ世界ニ害ヲ遺スモノニメ真説ハ人生ノ
善良ヲ助クルモノナリ

①虚言ニ由テ狼害ヲ取りシ僮

牧羊ノ僮一日近隣ノ人ヲ欺キ大聲ニテ狼來レリト
偽リ叫ビシカ衆人之ヲ信トシ遽テ、牧場ニ至ルニ
一狼ヲ見ズ僮ヲ叱メ歸リタリ後真ニ狼來ルアツテ
僮大ニ驚キ叫ンテ援ヲ乞フタレハ隣人ハ前日欺カ
レタルヲ以テ誰モ至ルモノナシ故ニ狼十分ニ羊ヲ
食ヒ去リタリ主人僮ノ罪ヲ責テ放逐セリ嗚呼虚言

ノ害反テ其身ニ歸セリ

②ロベルト及ビフランクノ事

ロベルト「フランク」ト共ニ犬ヲ弄シ戯レタルガ牛乳
ノ瓶ヲ覆ヘシ瓶破レ乳汁コボレタリニ兒相見テ大
ニ驚キ如何セント云フニ「フランク」曰ク我等母ニ告
テ之ヲ謝スベシ母常ニ過ヲ隠ス勿レト云ヒタリト
「ロベルト」曰我モ亦共ニユカン「ロベルト」待ツベシ
已ニメ今往ント呼ビケレバ「ロベルト」曰今且ク待ッ
ベシ我レ未ダ往ヲ得ズト「フランク」遂ニ獨リ往キ過
テ謝シタリ「ロベルト」猶豫シテ往カズ反テ罪ヲ犬ニ

歸シタルガ事遂ニ覺ハレ杖ヲ被リタリ嗚呼兒輩ハ
 「フランク」ノ如ク誠ヲ告ルヲ貴フベシ一「ミュー」ト留
 マルベシ今且ラク留ルベシト云ハズシテ直チニ走
 リ往キ過テ謝スベシ若シ猶豫シ留マレバ益臆シテ
 遂ニ誠ヲ告ル機會ヲ失フニ至ル兒輩其レ能ク之ヲ
 監ミヨ

③「ボルホルド」ノ夏

「プリストル」ノ商ゼームス、ボルホルド「不慮ノ難ニ罹
 リ産ヲ破リロンドン」ノ豪商アルベリ「ト約シ負債
 ノ事件條理シ了ラバ共ニ商法ヲ企ントモノ一旦「ウエ

ールス」ニ退キタルガ一女アリ老婆ニ育セラレタリ
 嘗テ父ヲ省セントテ驛車ニ乘リ同車ノ客三人ニ向
 ヒ已レカ身ノ富榮ナルヲ偽リ自負シ且ツ父ノ名ヲ
 告ケレバ彼三人ノ中二人ハ其父ノ財主ニメ固ヨリ
 其父ノ有金ヲ疑ヒ居リシナレバ此娘ノ話ヲ聞ニ及
 ンデ其舊債ヲ許サザルノミナラズ其不正ノ「ア
 ルベリ」ニ語りタレバ「アルベリ」前日ノ約ヲ辞ヌ
 他ノ人ヲ用ヒタリ是時父「ボルホルド」病ニ罹リタレ
 由之ヲ解説セントモノロンドン」ニ赴キシガ疲勞ニ由
 テ病ヲ増シ途中ノ逆旅ニ留リシニ會アルベリ「ウ

エールスニ往ントノ此逆旅ニ宿シタレバ「ボルホル
 ド大ニ喜ビアルベリ」ニ見テ娘ガ虚言ヲ具ニ陳謝
 シケレバ「アルベリ」モ疑念ハ解キタレ氏前約ハ遂
 ニ遂ゲズ「ボルホルド」幾バクモナク病ヒ愈ヘ家ニ帰
 リ商人トナリタレモ再ビ榮ルコトモ無カリキ嗚呼黠
 娘一旦ノ虚言ニ由テ父ノ福德ヲ失墜セシヌタリ誠
 實ノ道豈ニ須臾モ離ルベケンヤ

④「レンワルコル」ノ信義ノ支

「レンワルコル」ハ「ドンフレ」ノ近辺ニ住ミ自カラ
 勞作ノ衣食ヲ給シタリ性質貞良ニノ且敬天勸善ノ

行ヲ修シタリ父母ニ代テ女弟ヲ教育セシカ嘗テ一
 罪ヲ犯セリ此罪科他人ニ知ルモノアリト證スレバ
 死ヲ免ス國法ナリ「レンワルコル」官吏ニ訴ヘ之ヲ
 知ルト云ヘバ女弟ノ死ヲ救フベケレモ知ラザルヲ
 欺キ知ルト云ハ不正ナリト思ヒ知ラズト答ヘケレ
 バ女弟遂ニ死刑ニ處スベキニ決シタリ已ニメ「レ
 ンワルコル」ヲモヘラク我レ直ヲ好ミテ女弟ノ命ヲ
 救ハザルハ姉妹ノ愛欠クルナリト遂ニ三百里ノ遠
 キヲ歩シ「ロンドン」ニ至リ實情ヲ陳ベテ女王ニ請ヒ
 タルカ王其信義ヲ感テ妹ノ死刑ヲ赦サレタリ「ワル

トルスコツトヘレンワルコルノ誠信ト妹ノ死ヲ救
ヒタル盡カテ嘆稱シ「イロングレ」ノ寺ニ於テ「ヘレ
ンワルコル」ノ墓ニ碑ヲ立テ其品行ヲ頌ヒリ嗚呼卑
賤ノ一農婦信義ニ由テ「スコツト」ノ如キ天下有名ノ
人ニ崇敬セラル、ハ人ノ榮ナラズヤ

第二十七大量

小量ナル人ハ小事ノ誤ヲ容レズ同業ノ者ヲ妬ミ大
業ヲ成シタル人ヲ惡ミ小怨ヲ忌レズメ之ヲ復ス大
量ナル人ハ之ニ及ス容易ク怒ラズ時アリテ怒ルモ
度ヲ過サズ直ニ止ム已レノ成功ナキモ人ノ功業ヲ

見テ喜ビ公平ヲ以テ争フト雖凡人ヲ毀害スルニ至
ラズ人ノ過チニ由テ自カラ害ヲ受ル凡之ヲ怒ラズ
是ノ如キ人ハ已レカ利ヲ得ントメ敢テ人ヲ陷害セ
ズ人何ホド卑賤ナルモ正直ナルモノハ之ヲ賞シテ
賤マズ毫モ怨ヲ含マズ是則大量ナルモノニノ世ノ
人ニ尤モ稀ナル徳ニテ嘆賞セラル、モノナリ

①「マセドニヤ」ノ王「ヒリツプ」寛裕ナル吏

「マセドニヤ」ノ王「ヒリツプ」アゼン^{オレートル}ノ論理家ニ王ヲ諍
ルト告ンモノアリシニ「ヒリツプ」寛裕ニノ其惡口人
ヲ罰セズノ曰吾方ニ品行ヲ正シクメ彼ノ惡口ヲ虚

誕トナシ畢ルヲ務トセバ可ナリ又惡口ノ罪人アリ
 近臣之ヲ罰セン_一ヲ請ヒタルニ王曰先ツ我等ヨリ
 彼レヲ怒ラセル_一有ルカヲ檢セヨ乃ハチ之ヲ黥檢
 スルニ初メ切アル人ナリシニ其賞ナク由テ惡口ヲ
 為シタルモノタルヲ知り遂ニ其人ニ賞褒ヲ與ヘリ
 ②英王「ウィルリアム」三世「ゴトルロン」族ヲ懷
 ケタル也

英國「ゼームス」二世廢セラレテ「ウィルリアム」三世位
 ヲ襲グ_一「ゼームス」ヲ位ニ復セン_一ヲ謀ルモノハ叛
 逆ト為レリ然ルニ貴族密カニ「ゼームス」ト謀ヲ通ズ

ルモノ多シ_一「ゴトルロン」族モ亦與_一カレリ三世一日族
 ナ書齋ニ招キ内通ノ密書ヲ示メ先君ニ忠ナルヲ賞
 シ且ツ我友トナサン_一ヲ告ツ、直ニ其書ヲ火_一タリ
 族其寛裕ノ處置ニ感メ「ゼームス」ヲ絶テ三世ノ股肱
 ノ佐トナリタリ

③「ハバンナ」ノ鎮尹大器ナル也
 二國際アル_一ハ相害スルヲ主トシ互ニ兵ヲ遣リ地
 ナ掠メ軍艦ヲ縱テ攻畧スルハ常ナリ此禍害ノ心盛
 ンナル_一ハ敵ヲ寛大ニ交接スルモノハ實ニ大器ト
 稱スベキナリ千七百四十六年英國「スペー」ト際ア

リテ互ニ船舶ヲ奪ヒタリ會_レロンド_ンノ高船大價ノ
 商品ヲ積ミテ「ヤマイカト」キウバノ間ニテ船ヲ損シ
 タルガ舟人只生命ヲ保タントメ虜トナリ船ヲ奪ハ
 ル、ヲ決シテ敵地スベ_レンノ領地ノ「ハバンナ」ニ往
 キ鎮尹ニ船ヲ與ヘテ虜人ノ如ク深刻ニ待遇セラレ
 ザルヲ願ヒタリ鎮尹之ヲ慰勞シテ曰_ク汝抵抗ノ心ヲ
 以テ來ラバ汝ヲ扱ヘルハ當然ナリ今汝窮迫ノ來ル
 モノナレバ人情何ソ汝ヲ濟ハズメ害ヲ加ヘンヤ汝
 ニ我港ヲ假スベシ宜シク船ヲ脩シ去ベシト因テ英
 人船ヲ脩シ了テ將ニ去ントスル片鎮尹又「スベ_レン」

ノ軍艦ニ害セララル、ヲ防_ン為ニ國界「ブレムダ」ヲ出
 ルノ勘合ヲ與ヘタリ故ヲ以テ無難ニメ「ロンドン」ニ
 歸_リタリ「^{イニカン}」曰_ク窺ムベキ機會ヲエテ大
 器ニ之ヲ逸レシムルハ非常ノ人ト云フベシ

第二十八義勇

危急ニ臨_ンデ大膽ニ之ニ抵抗スルモノ之ヲ勇ト云
 フタト入_レバ人ノ命ヲ救ヒ害ヲ免レシメ殿_リシテ敵
 ヲ防ク等ナリ然レ_ドモ標準ナケレバ稱スルニ足ラズ
 盜ハ大膽ナリ妄リニ敵國ヲ侵掠スルモ大膽ナリ然
 レ_ドモ是レ義ニ非ズ將校ニシテ輕悍ナルモノヲ誤テ

勇ト稱スルモノアリ是等ノモノハ一旦勝ヲ得ルモ
良善ノ功ヲ収ムルモノニアラザレバ亦真ノ勇ニ非
ルナリ

① グレー スダリング ノ 夏

千八百三十八年九月ニ「ブナルワーシヤ」ト号スル
汽船「ルザンブル」ノ海ニテ颶風ニ出逢シガ
船具疎漏ニシテ備ハラザリケレハ遂ニ岩礁ニ中テ
壞レタリ翌朝「ソンドルランド」ノ燈臺守者タルリン
グ彼船ノ大半摧ケテ困難スルヲ見テ悲哀ニ堪ス直
ニ小舟ヲ泛ベテ救ハント擬シタレモ風濤奔騰シケ

レバ一人ノ力ニ及バズ乃ハ子女「グレー」ス二十歳
ナルニ櫓ヲ操ラシメ彼ノ船ニ達メ未ダ死ニ及バザ
リシモノ九人ヲ救ヒ歸レリ是時「グレー」スナクンバ
此九人ノモノモ争カ免ル、ヲ得ンヤ吾身ヲ危フメ
人ヲ濟ヘルハ真ノ勇者ト稱スベシ此善行世人相傳
稱シ画工其地ニ至リ彼女ノ難ヲ救ヒタル景况ヲ寫
メ世ニ公布セリ且ツ人々會社ヲ結ビ各金ヲ出メ六
百ポンドヲ與ヘテ賞美セリ英国ノ高官ナル人等モ
亦皆書ヲ贈リテ贊美セリ

第二十九 懷國

我カ生レタル王地ヲ懷慕スルハ人情ノ常ナリ故ニ其地褊小鄙陋ニシテ其民無智妄惡ナルモ其地ヲ懷ハザルモノナシ然クメ此情乃チ國ヲ保ツノ要件ナリ故ニ外寇ヲ防ギ自國ヲ利シ國人互ニ忠愛スルモノ皆國ヲ保護スルノ情ナリトスタトヘバ「チランダ」人ハ「チランダ」國及ビ「チランダ」人ヲ愛シ外寇ヲ防クニ命ヲ擲キ其國ヲ利センコトヲ謀リ其政府ヲ助ケ其政體宗教ヲ善トシ之ヲ守ルナリ因テ國民上下和睦シ以テ盛榮スルナリ若シ「チランダ」外國ニ屬スルキハ其法至善ナルモ自國ノ法ニ及バザルモノナリ

然ルニ懷國ニモ亦遠度アリ國ニ過舉アルヲ正サズノ是レ國法ナリト確執スルハ頑愚ニ屬ス且ツ偏ニ他國ノ人民ヲ凌蔑スルハ極メテ不可ナリ軍旅ハ至極至要逃ルベカラザル時ニ非レバ為スベカラズ吾國ノ製造物及ビ商賈ヲ昌ニスベク欲スル氏是ニ由テ他國ヲ害セザルヲ要ス他ノ國ノ榮ハ即チ吾國ノ榮ナリ何ントナレバ他國榮ユレバ我國ノ產物ヲ彼レヘ售リ與フレバナリ之ヲ要スルニ國ノ務ハ人ノ務ニ異ナルコトナシ夫レ一人上達スルニ正直ヲ主トシ他人ヲ害セザルヲ要ス國亦然リ正直ノ方ニ由

テ其利ヲ得ズンハアルベカラズ苟モ能ク正直相利
スルヤ外國榮エテ平和ナルホド我國亦榮エテ平和
ヲ取ルナリ

○「テミストークル」人「ラセドモニア」ノ軍艦ヲ
焚カントシタル事

往古希臘ノ「エゼン」ニ「テミストークル」ト云ヘル元帥
アリ武勇ノ士ナレドモ無道ノ人ニシテ度外ニ吾邦ヲ
愛シ隣國ノ「ラセドモニア」ヲ惡ミ一ニ之ヲ滅サン
ヲ企テタリ一日公會ニ坐シ衆ニ告テ曰「予「ラセドモ
ニア」ヲ斃シ「エゼン」ヲ希臘第一ノ國トナスベキ良策

ヲ按シタリ然レドモ之ヲ行フニ秘密ヲ要スルユヘ公
ニ告グ可ラズ故ニ予ガ策略ノ良否ヲ議スベキ賢者
一人ヲ撰ム可シト衆人乃「アリスタイズ」ヲ推シタリ
此人ハ廉直謹慎ニシテ大ニ人望ヲ得タル人ナリ「テミ
ストークル」密ニ之ニ告ケテ曰「予今隣海ニ碇泊セル
「ラセドモニア」ノ大數ノ軍艦ヲ焚キ滅サン「ヲ計リ
タリト云ヒケレバ「アリスタイズ」即チ衆ニ報シテ「
ゼン」ヲ利スルハ此策ニ如クナシ然レドモ不正ニシテ「
ゼン」ノ名ヲ害スルハ之ヨリ甚シキハナシト告ケレ
バ衆會他ノ言ヲ待タズ「テミストークル」ノ策ヲ聽カ

ズノ其事罷ミタリ
史學家コルリン之ヲ評メ曰ク余未ダ斯ノ如キ賞ス
ベキ盛事ヲ見ズ何ントナレバ學士ニアラズ尋常平
民ノ衆會ニシテ信義ヲ主トシ利益ヲ棄タルハ尤モ賞
スベキナリ

②カライスノ報國士ノ夏
英國王「エドワード」弟三世「カライ」ヲ攻メタル片居
民城ニ據リ固守シテ降ラザル一一年餘其間ニ英兵
大數ヲ失ヒタリ王其頑固ニシテ我人ヲ損シタルヲ怒
リ居民軍糧竭キテ降ラントスル片居之ヲ聽カズ悉ク

城中ノ人ヲ戮シ財物ヲ奪ハント欲セシガ將校等其
慘酷ナルヲ諫メテ稍寛典ヲ議シケレバ王居民ノ魁
首ナルモノ六人頭ヲ露ハシハシニテ頭ニ繩ヲ纏マヒシ衫
ヲ着テ城門ノ鑰ヲ持テ來ラバ他ノ者ノ命ヲ赦サン
ト決シタリ此令城内ニ達シタル片居民愁嘆啼哭セ
リユーステリスナルモノアリ其間ニ出テ、今此府
ノ困難ヲ救フナレバタトヘ余ガ血液ヲ以テ之ヲ
求ムトモ怨ナシ是レ天ニ務メ國ヲ愛スルモノナリ
故ニ令ニ從フテ英軍ニ行カント云ヒケレバ皆其愛
國ノ義氣ニ感ジテ他ノ五人モ亦之ニ從フタリ人間

愛國ノ志ヲ貴フノ日終ラズンバ「ユーステース」芳名
亦朽チザルナリ己ニメ六人王ノ陣ニ赴キシニ命ノ
如ク醜クキ貌ヲナシタレバ其思志ハ有功ノ士ノ冠
服ヲ着スルヨリモ猶盛ンナリト云フベシ王直ニ之
ヲ劾レト命ジタルヲ太子將校皆之ヲ止ムレバ王之
ヲ聽カズ竟ニ「ヒリッピア」右己レノ功ヲ以テタメニ彼
ノ六人ノ死ヲ購ハン「ヲ懇ロニ請ヒケレバ王之ニ
抗スベカラズメ竟ニ之ヲ赦ルシタリ

修身小學卷之下終

明治六年第五月上梓

著述藏版

大阪

澤井 瓖 平

大阪心齋橋筋南久寶寺町

前川 善兵衛

同備後町角

弘通書肆

吉岡 平輔

公集書報

吉岡平藤

前川善次郎

養正齋藏

大野 野井楚平

昭和六年五月十日



